

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（平成28年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成28～30年度J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成28年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取り組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っております。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

平成29年3月末時点のJ Aバンク埼玉の農業関係資金残高^(注1)は10,748百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は5,290百万円となっております。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	平成29年3月末現在
農業	
穀作	1,818
野菜・園芸	4,325
果樹・樹園農業	569
工芸作物	332
養豚・肉牛・酪農	454
養鶏・鶏卵	171
養蚕	0
その他農業	3,075
農業関連団体等	0
合 計	10,748

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれております。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成29年3月末現在
プロパー資金	7,521
農業制度資金	3,226
うち農業近代化資金	2,431
うちその他制度資金	795
合 計	10,748

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

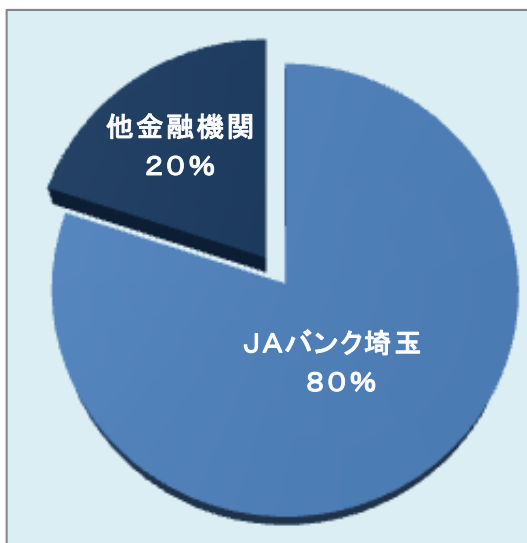
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成29年3月末現在
日本政策金融公庫資金	5,290
そ の 他	0
合 計	5,290

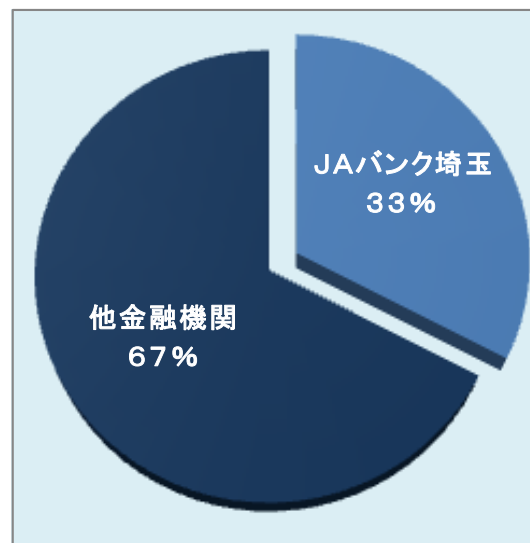
JAバンク埼玉は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいて高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫受託貸付の残高シェア】

農業近代化資金
(平成28年12月末時点)



公庫農業資金受託貸付
(平成29年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内16 J A及び信連の本店に、農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計29名配置しております(平成29年4月1日時点)。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的として、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しております。県内では566名が取得しております(平成29年3月末時点)。

J Aバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となって、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築しており、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しております。

【具体的取組事例】

〈農業資金相談窓口の設置〉
担い手への対応強化及び農業資金のPRのため、J A・信連・日本政策金融公庫共催により「担い手向け農業資金相談窓口」を設置して、借入相談を実施しております。 〈平成28年度相談会開催実績〉 J Aさいたま：2日間、J Aいるま野：2日間、J Aふかや：2日間、 J Aほくさい：2日間、J A南彩：2日間
〈農業資金活用促進のための研修会の開催〉
融資担当者及び渉外担当者等を対象とした「農業融資担当者研修会」で制度資金の活用促進を図るため、農業近代化資金等制度資金並びに日本政策金融公庫資金の説明を実施しております。
〈農業機械大展示会への参画〉
県内J A、全農埼玉県本部等が主催となり、担い手農家等に対する生産資材コスト削減及び適正機械の導入・利用促進を図ることを目的に、「農機大展示会」を年2回開催しており、埼玉県信連はこの会に協賛し、農業融資商品のPR及び借入相談を実施しております。

(4) 生産者と消費者をつなげる場の設置

県やJAグループ等からなる彩の国食と農林業の祭典実行委員会では、生産者と消費者をつなげる交流イベントとして、「2016彩の国食と農林業ドリームフェスタ」（平成28年11月19・20日、しらこぼと水上公園）を開催いたしました。

このイベントは、食と農林水産業をアピールするとともに、来場者・生産者の交流をはかり、県内農林水産業への理解を深めてもらうことを目的とした県民参加の催しであり、58,000人の方にご来場いただき好評を博しました。

JAバンク埼玉は、当イベントの祭典実行委員会の構成員として参画しております。

〈2016彩の国食と農林業ドリームフェスタ〉



2 担い手の育成・経営等に係る支援

JAバンク埼玉は、担い手をサポートするため、次の取り組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	平成 28 年度 実行件数	平成 28 年度 実行金額	平成 29 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	18	83	175
就農支援資金	0	0	160
そ の 他	0	0	0
合 計	18	83	335

(2) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク埼玉では、農業の成長産業化の後押し及び農業法人の育成のため、彩の国埼玉・農業法人協会、信連、農林中央金庫の共催にて「農業法人等人材活用研修会」を平成29年2月3日（金）に開催いたしました。

(3) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた相続セミナーを開催しております。また、セミナー開催後には個別相談も実施しており、お取引先様の相談ニーズに適切な対応を図っております。

【講演会・セミナー開催実績】

講演会名	主催者	参加人数	個別相談会参加人数	講演内容
J A相続セミナー	J Aさいたま	38名	3名	講師 埼玉県信連契約FP 題目「相続への備えと遺言の必要性」
	J Aいるま野	237名	8名	
	J A埼玉中央	24名	6名	
	J Aちちぶ	40名	1名	
	J Aくまがや	13名	1名	
	J Aふかや	5名	2名	
	J Aほくさい	—	2名	
	J A越谷市	49名	1名	
	J A南彩	47名	7名	
	J Aさいかつ	17名	—	
合計	10JA	470名	31名	

(4) 被災者・生産資材高騰等への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等が発生し、被災者の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内容	件数	貸付実行金額
台風9,10号被害に対する自然災害復旧資金	J Aいるま野	平成28年8月の台風被災者に対し、1軒500万円を限度とし低利資金を創設。	0	0
合計			0	0

(5) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

【平成 28 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先①		2	0	—	2	0.0%	—
要 注 意 先	うち その他要注意先②	—	—	—	—	—	—
	うち要管理先③	—	—	—	—	—	—
破綻懸念先④		3	3	—	3	100.0%	0.0%
実質破綻先⑤		1	1	—	1	100.0%	0.0%
破綻先⑥		—	—	—	—	—	—
小計(②～⑥の計)		4	4	0	4	100.0%	0.0%
合計		6	4	0	6	66.7%	0.0%

注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成 29 年 3 月末時点でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【平成 28 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位 件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 29 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	1
その他	0	0	19
合計	0	0	20

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っております。

(1) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校816校へ、73,106セット配布され、学校の授業等において活用されております(平成28年度実績)。

また、県下J A・信連では、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでおります。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動内容
J Aさいたま	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜等の栽培指導 ○食農教育の実施(田植え・稲刈り体験ツアー、畑作体験学習、親子料理教室の実施) ○少年野球大会の開催 ○学校給食への食材提供
J Aあさか野	<ul style="list-style-type: none"> ○食農教育の出前授業、直売所での収穫体験(人参・トウモロコシ等)、稲刈り体験教室、田植え体験ツアー、バケツ稲作り ○学校給食への食材提供 ○夏休みこども村の実施 ○親子料理教室の実施 ○ミニバスケットボール大会の実施 ○商工会での地元農産物の利用 ○地元野菜出張販売10ヶ所を毎週、隔週で実施
J Aいるま野	<ul style="list-style-type: none"> ○アグリキッズスクールの開催 ○子供料理コンクールの開催 ○子供向けスポーツ教室の開催
J A埼玉中央	<ul style="list-style-type: none"> ○食農教育(稲作体験学習・野菜の栽培管理) ○親子米作り教室 ○社会科体験学習 ○夏休みこども村
J A埼玉ひびきの	<ul style="list-style-type: none"> ○食農教育の出前授業(稲作体験学習・野菜の栽培管理)、農業体験学習(稲作・畑作)ほか各種体験学習の開催 ○小学校運動会・地域スポーツ大会への記念品贈呈 ○ちゃぐりんフェスタ、少年野球・サッカー大会開催
J Aくまがや	<ul style="list-style-type: none"> ○親子稲作体験(田植え・稲刈り) ○食農教育・さつまいも植えの実施 ○食農教育・すいとん作りの実施

J A名	活動内容
J A 花園	○食農教育の出前授業（稲作体験学習） ○稲作り体験教室、田植え、稲刈り体験ツアー、バケツ稲作り ○学校給食への食材提供
J A 越谷市	○バケツ稲作り指導 ○ネギ植え付け体験教室ほか、各種体験学習の開催 ○学校給食への食材の供給 ○地域運動会へのお米の贈呈 ○市内小学校への食育雑誌「ちゃぐりん」8月号贈呈
J A 南彩	○夏休みこども村の開催 ○サッカー教室
J A さいかつ	○ふれあい祭りの開催 ○さつまいも収穫体験 ○田植え稲刈り体験 ○夏休みこども村の開催 ○管内小中学生向け職場体験、社会科学習等の開催 ○管内各行政の農業祭等共催 ○食農教育の出前授業（稲作体験・野菜の栽培管理）開催 ○直売所におけるイベント開催

（2）埼玉県パパ・ママ応援ショップへの協賛

J Aバンク埼玉では、少子化対策として埼玉県が市町村・企業と連携して子育て家庭を応援する「パパ・ママ応援ショップ」事業に協賛し、子育て支援に取り組んでおります。

【パパ・ママ応援事業の活動内容】

J A名	具体的協賛活動内容
J A さいたま	○住宅ローンの金利優遇 ○子育て応援金利上乗せ定期積金（商品名「みらい」）
J A あさか野	○住宅・マイカーローンの金利優遇 ○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○新規こども共済契約者への粗品贈呈 ○お米の割引
J A いるま野	○住宅・マイカー・教育ローンの金利優遇 ○定期貯金・定期積金の金利上乗せ
J A 埼玉中央	○住宅ローンの金利優遇 ○定期積金の金利上乗せ
J A 埼玉ひびきの	○住宅所有者向け各種ローンの金利優遇 ○住宅・リフォーム・マイカー・教育ローンの金利優遇 ○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○お米の割引
J A くまがや	○住宅・マイカー・リフォームローンの金利優遇 ○定期貯金・定期積金の金利上乗せ

J A名	具体的協賛活動内容
J A ほくさい	○住宅ローンの金利優遇 ○定期貯金・定期積金の金利上乘せ ○直売所における玄米の割引
J A 越谷市	○住宅・マイカー・教育ローンの金利優遇
J A 南彩	○定期貯金、定期積金の金利上乘せ ○マイカーローンの金利優遇
J A さいかつ	○住宅・小口ローンの金利優遇
埼玉県信連	○定期貯金・定期積金の金利上乘せ

〈パパ・ママ応援ショップ〉

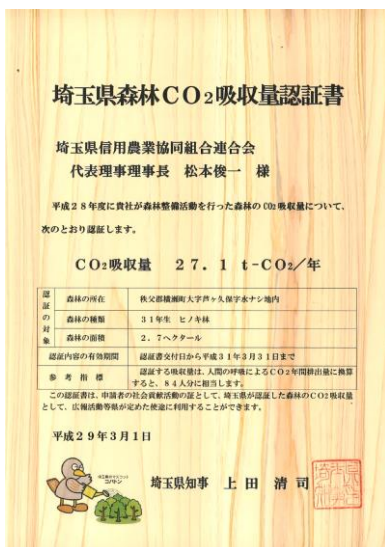


※右下の優待カードは、平成29年8月1日より使用開始。

(3) 環境保全活動

埼玉県信連は、公益社団法人埼玉県農林公社と協働し、森づくりを通じて地球温暖化や水源地環境の保全に貢献することを目的に、役職員が参加して「JAバンク埼玉県信連の森づくり」活動（森林整備活動）を行い、森の再生を支援しております。

〈「JAバンク埼玉県信連の森づくり」活動〉



埼玉県森林CO₂吸収量認証書

平成28年度の活動・支援により、埼玉県知事より、吸収量27.1t (CO₂/年)の認証取得。

以上